

# 第3回

## 長野市住宅対策審議会

令和8年1月23日

協議  
事項

- (1)市民アンケートの集計結果
- (2)現況分析の更新結果
- (3)今後の予定

# 協議事項(1)

## 市民アンケートの集計結果

【資料】市民アンケート速報値 報告資料

## 1. アンケートの概要

### 【1-1 調査対象及び調査方法】

調査対象:市内在住の18歳以上の市民

調査件数:5,000件(世帯単位)

抽出方法:住環境の地域性を考慮して市内を6地域に区分し、年代を考慮しながら、住民基本台帳から無作為抽出。

調査方法:郵送による配布・回収(Webによる回答可)

調査期間:令和7年9月24日～10月10日まで

### 【1-2 回収結果】

令和7年10月末現在の回収数は2,057件、回収率は41.1%となっています。

図表 地域別の配布数・回収数と回答率(令和7年10月末時点)

地区	配布数	回収数	回収率
長野市Ⅰ	483	287	59.4%
長野市Ⅱ	1,241	442	35.6%
長野市Ⅲ	1,277	530	41.5%
長野市Ⅳ	1,304	554	42.5%
長野市Ⅴ	352	140	39.8%
長野市Ⅵ	343	92	26.8%
不明・無回答	—	12	—
合計	5,000	2,057	41.1%

# 1. アンケートの概要

## 【1-3 設問項目】

設問	調査項目	設問の設定	設問	調査項目	設問の設定
問1	属性	居住地区(12区分)	問14	今後の住まいについて	居住継続意向
問2-1		年齢(年代8区分)	問15-1		住み替え理由
問2-2		家族構成	問15-2		住み替え後の住宅
問3		主な働き手の年代	問15-3		持家を購入する場合の費用の目安
問4		住宅確保要配慮者の有無	問15-4		住み替えに対する不安
問5-1	現在の居住環境について	住宅種別	問15-5	高齢者・障害者に対応した住宅について	住み替え希望場所
問5-2		持ち家のリフォーム実施状況	問16		バリアフリー化
問6		住宅の面積	問17-1		バリアフリー化状況
問7		住宅の建築年	問17-2		バリアフリー改修費用
問8		住宅の構造	問18		老後の住まい
問9	住まいの安心・安全について	住宅の耐震性	問19	子育てしやすい住まい・環境について	子育てを行ううえで、住まいに関して不安に思うこと
問10-1		長野市ハザードマップ・防災マップ等の確認	問20		子育てしやすい環境づくり
問10-2		今後起きうる災害について、不安に思うこと	問21	環境に配慮した住まいについて	環境配慮の取組状況
問11		住宅の防災対策	問22	ご自宅の利活用と周辺の空き家について	空き家に対する感じ方
問12	住まいや住環境に関する評価について	現在の住宅・居住環境の評価(25項目)	問23		自宅の継承
問13			問24		相続登記の義務化
			問25	今後の住まいの確保	今後の住まいの確保について不安に思うこと
			問26	住宅施策	重点的に行うべき住宅施策
			-	自由意見	本市の住宅施策について、意見・要望等

## 2. 集計結果

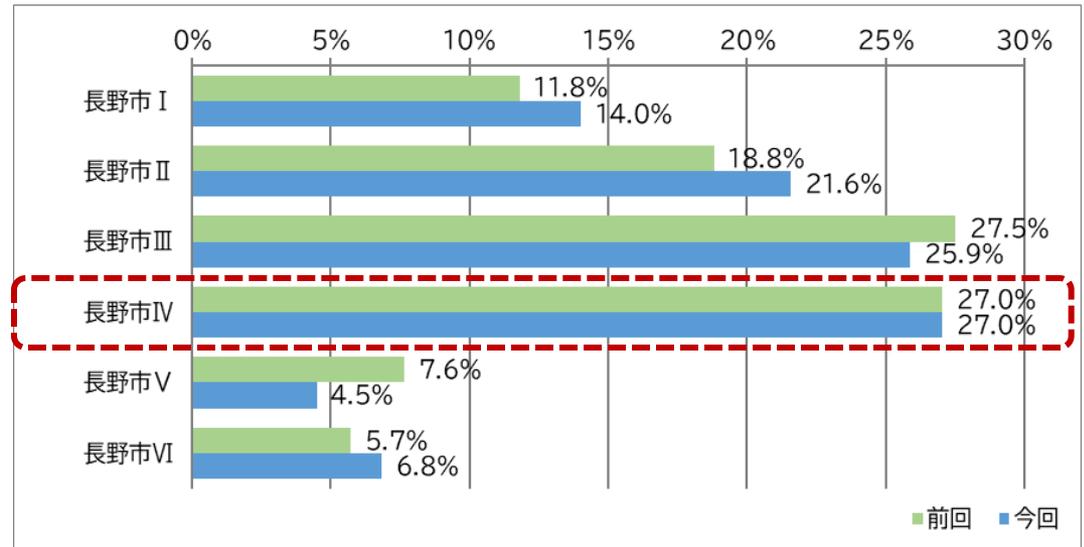
### 【2-1 回答者属性】

#### ① 地区 [問1]

・「長野市Ⅳ」が27%と最も多く前回と前回同様の回答割合となっている。

次いで「長野市Ⅲ」が約26%、「長野市Ⅱ」が約22%となっている。

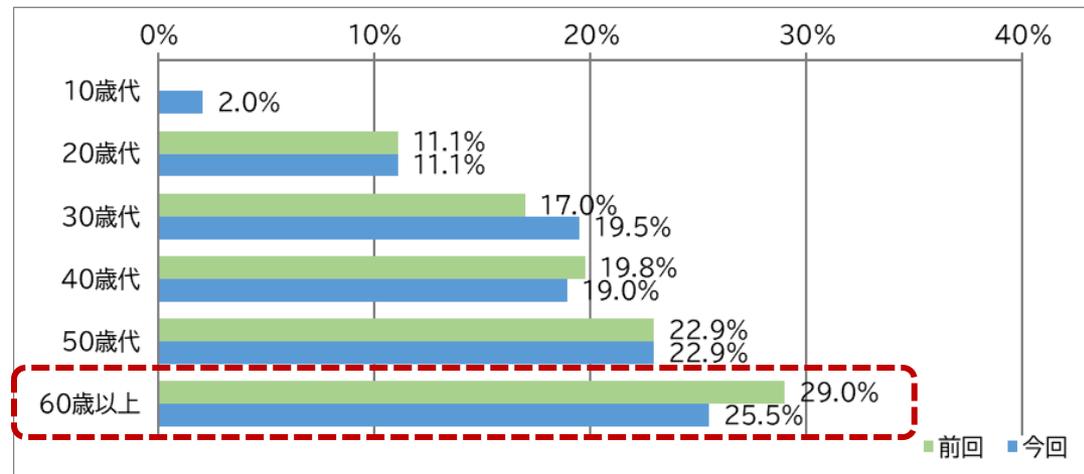
・「長野市Ⅴ」は約5%



#### ② 年代 [問2-1]

・「60歳以上」が約26%と最も多く、次いで「50歳代」が約23%と前回同様の回答割合となっている。

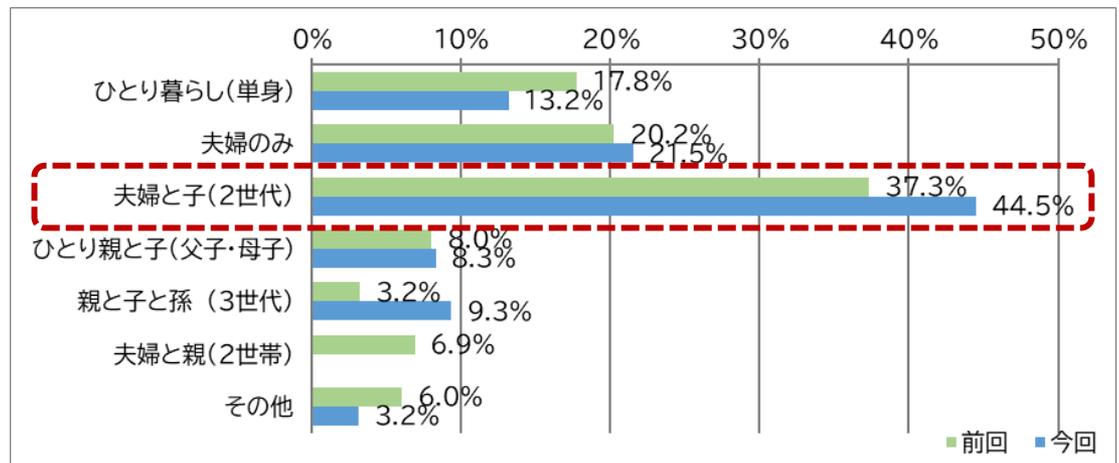
・「10歳代」は2%



## 2. 集計結果

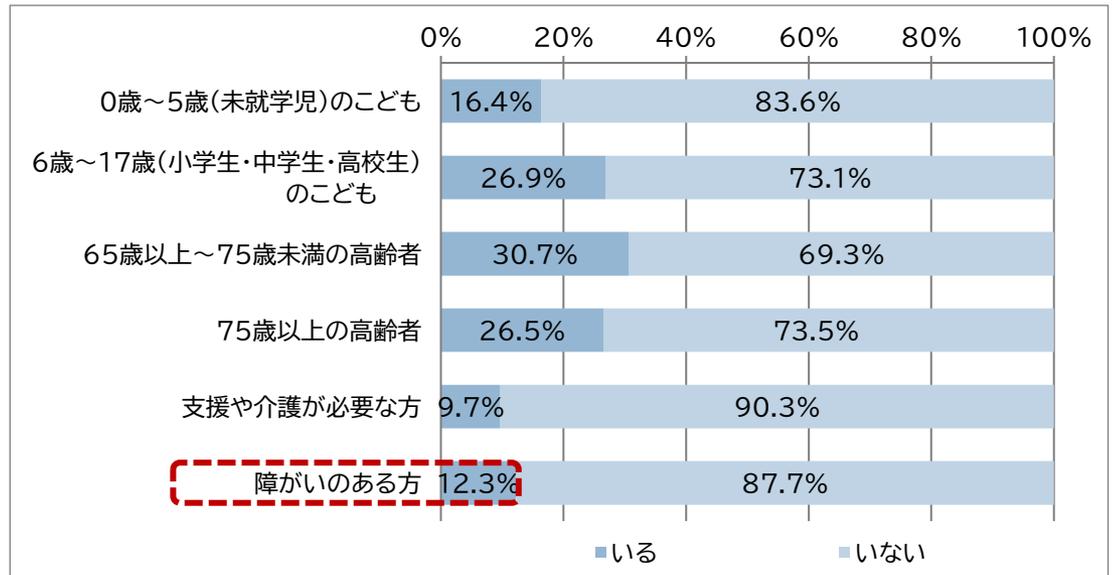
### ③ 家族構成 [問2-2]

・「夫婦と子(2世代)」が約45%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が約22%となっている。



### ④ 住宅確保要配慮者の有無 [問3]

・「支援や介護が必要な方」が約12%と最も多く、次いで「障がいのある方」が約10%となっている。

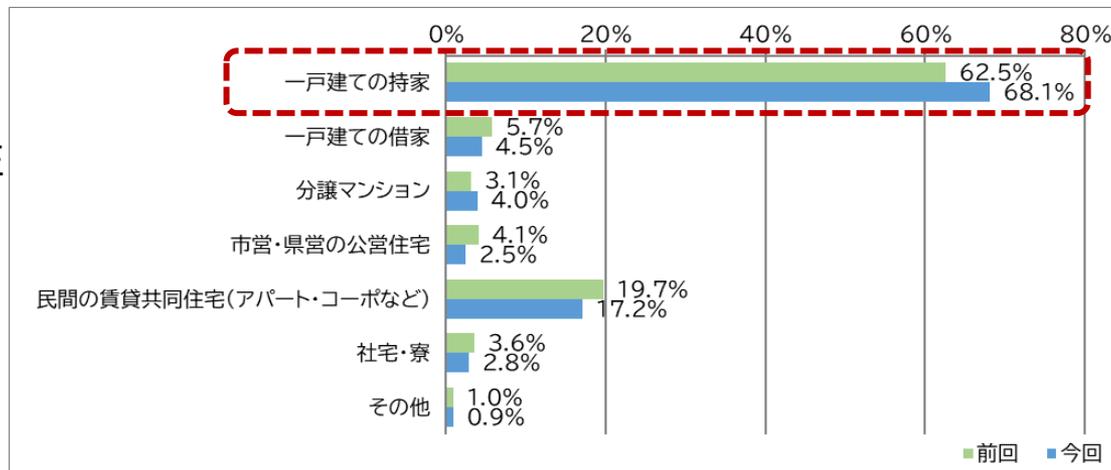


## 2. 集計結果

### 【2-2 現在の居住環境について】

#### 住宅種別 [問5-1]

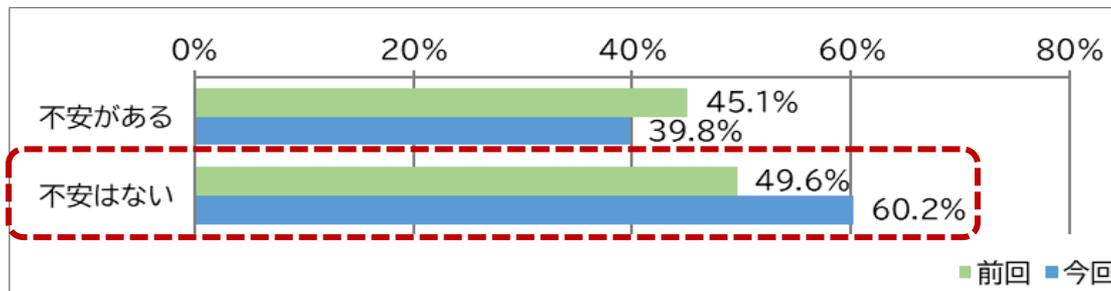
- ・「一戸建ての持家」が約68%と最も多く、次いで「民間の賃貸共同住宅(アパート・コーポなど)」が約17%となっている。



### 【2-3 住まいの安心・安全について】

#### ① 住宅の耐震性[問9 A]

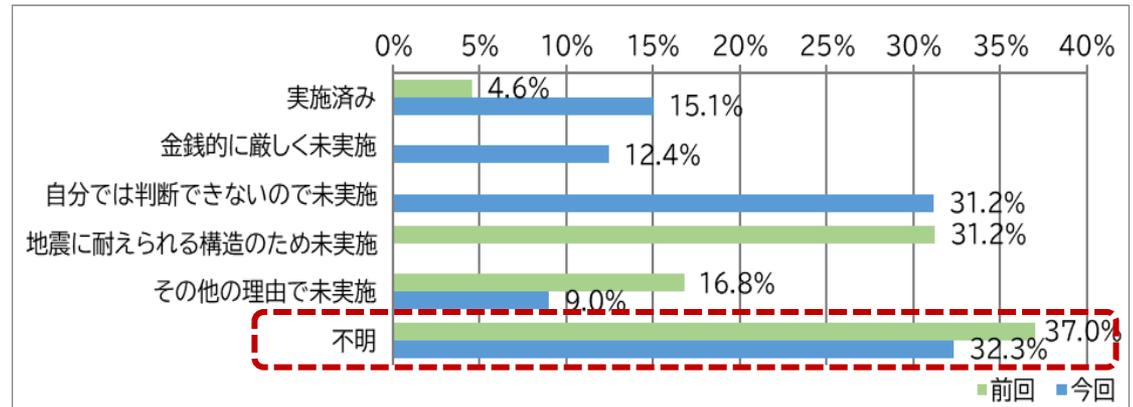
- ・「不安はない」が約60%となっており、前回より大きく回答割合が増加している。



## 2. 集計結果

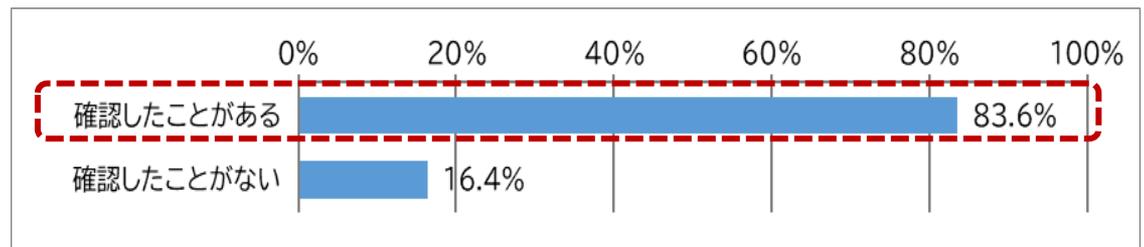
### ② 耐震改修 [問9 C]

・耐震改修の実施状況については「不明」が約32%と最も多く、次いで「自分では判断できないので未実施」が約31%となっている。



### ③ 長野市ハザードマップ・防災マップ等の確認状況 [問10-1]

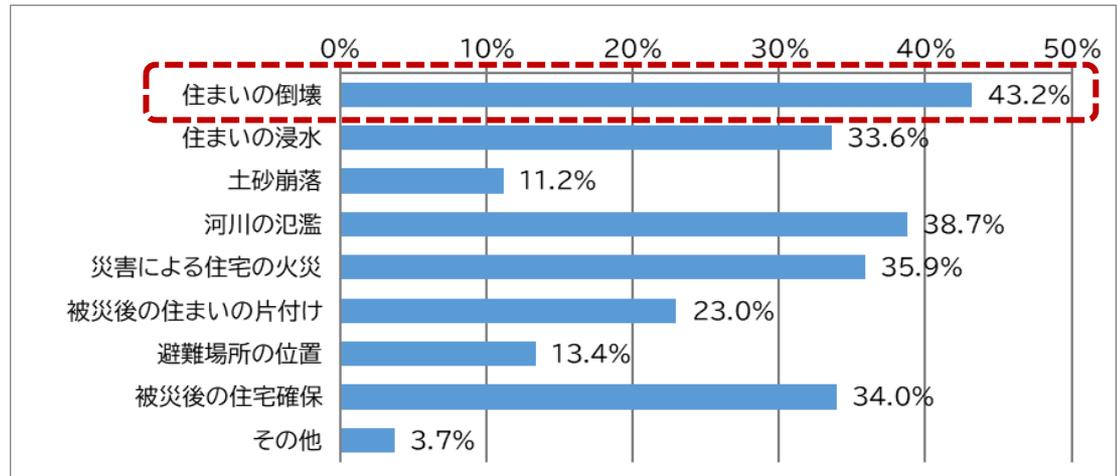
・「確認したことがある」が約84%となっている。



## 2. 集計結果

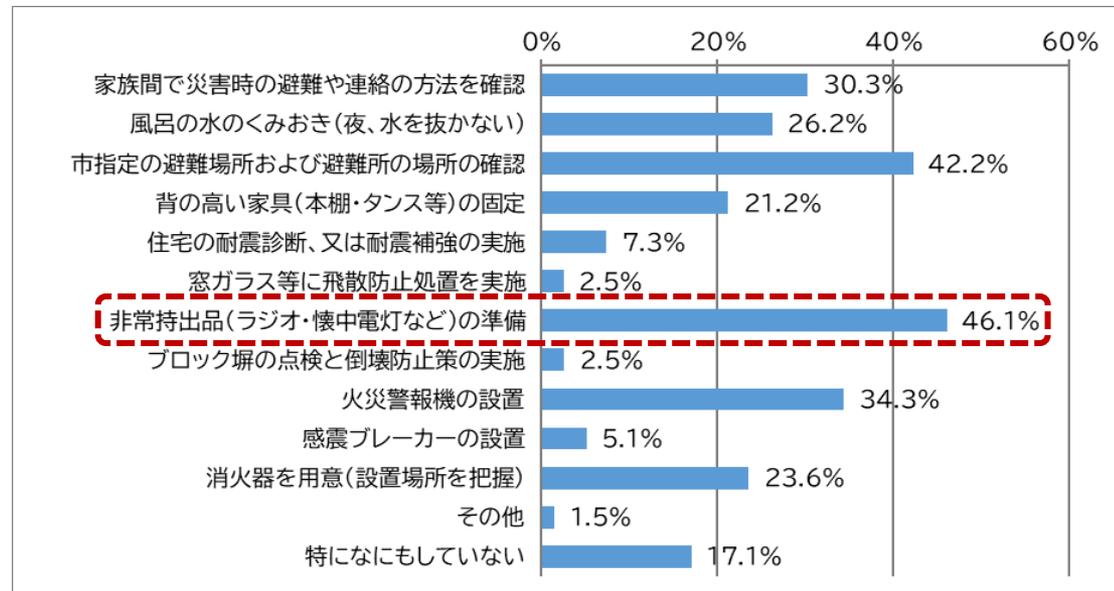
### ④ 今後起きうる災害について不安に思うこと [問10-2]

・災害に対する不安事項については「住まいの倒壊」が約43%と最も多く、次いで「河川の氾濫」が約39%となっている。



### ⑤ 家庭での防災対策の実施 [問11]

・家庭で実施している防災対策では「非常持出品(ラジオ・懐中電灯など)の準備」が約46%最も多く、次いで「市指定の避難場所および避難所の場所の確認」が約42%となっている。



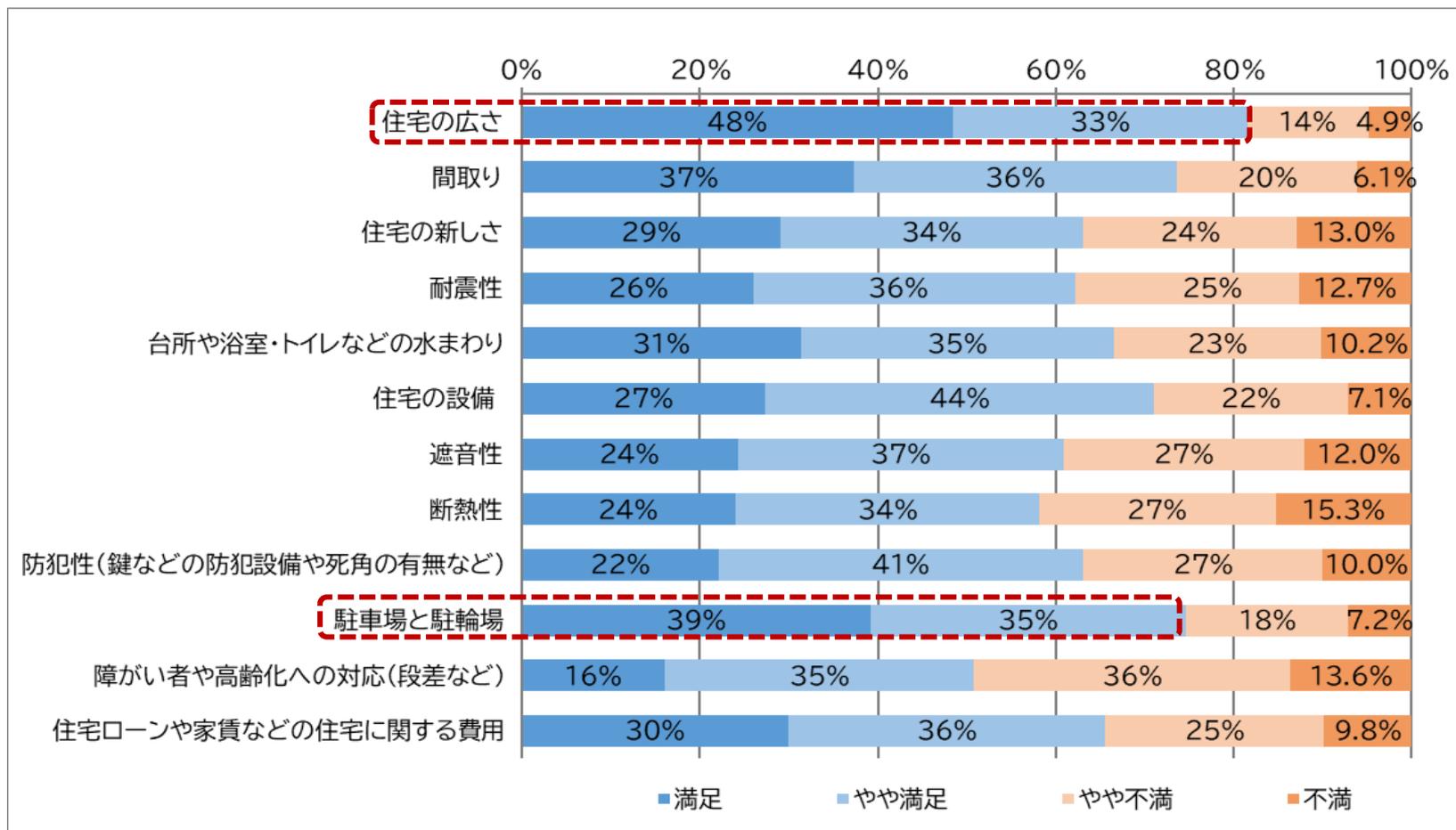
## 2. 集計結果

### 【2-4 住まいや住環境に関する評価について】

① 現在の住まいについて満足度が高い項目[問13]

・「住宅の広さ」:約80%

・「駐車場と駐輪場」:約74%

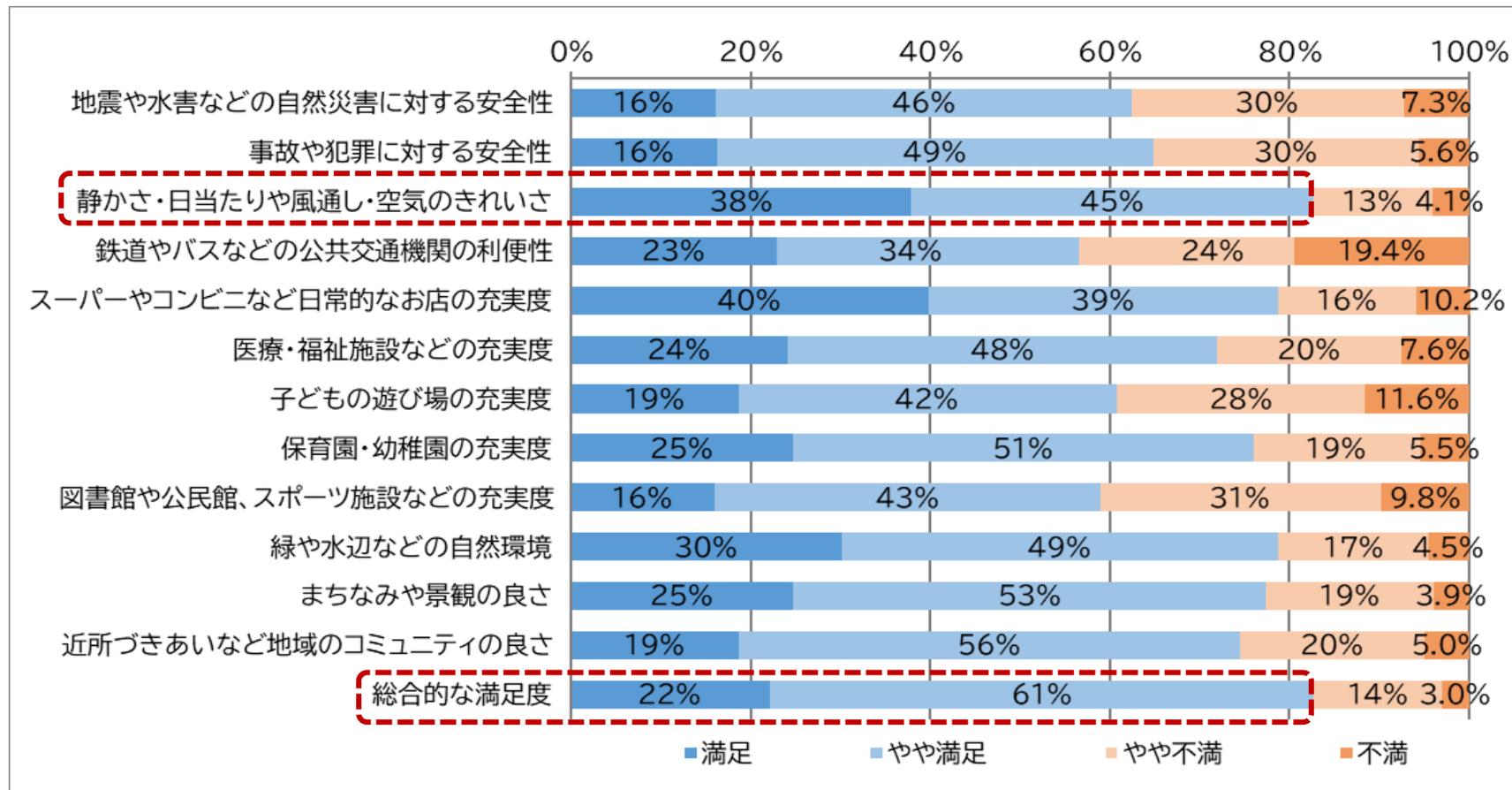


## 2. 集計結果

### ② 居住地の周辺環境について満足度が高い項目[問14]

・「静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」:約83%

・「総合的な満足度」:約83%



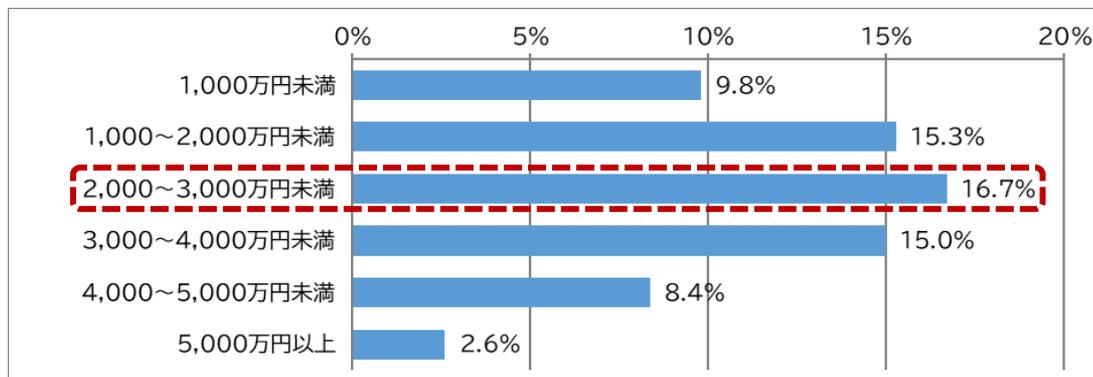
## 2. 集計結果

### 【2-5 今後の住まいについて】

持家を購入する場合の費用の目安

[問15-3]

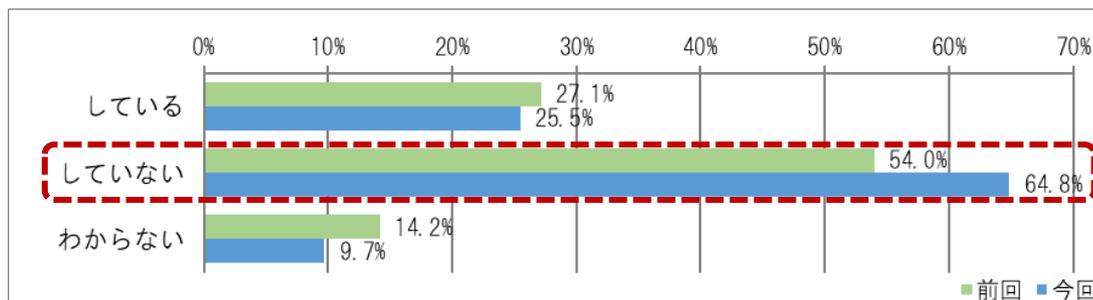
・「2,000～3,000万円未満」が約17%と最も多く、次いで「1,000～2,000万円未満」が約15%となっている。



### 【2-6 高齢者・障害者に対応した住宅について】

バリアフリー化[問16]

・現在、住んでいる住宅のバリアフリー化(改修も含む)については「していない」が約65%と最も多く、前回計画よりも回答割合が増加している。



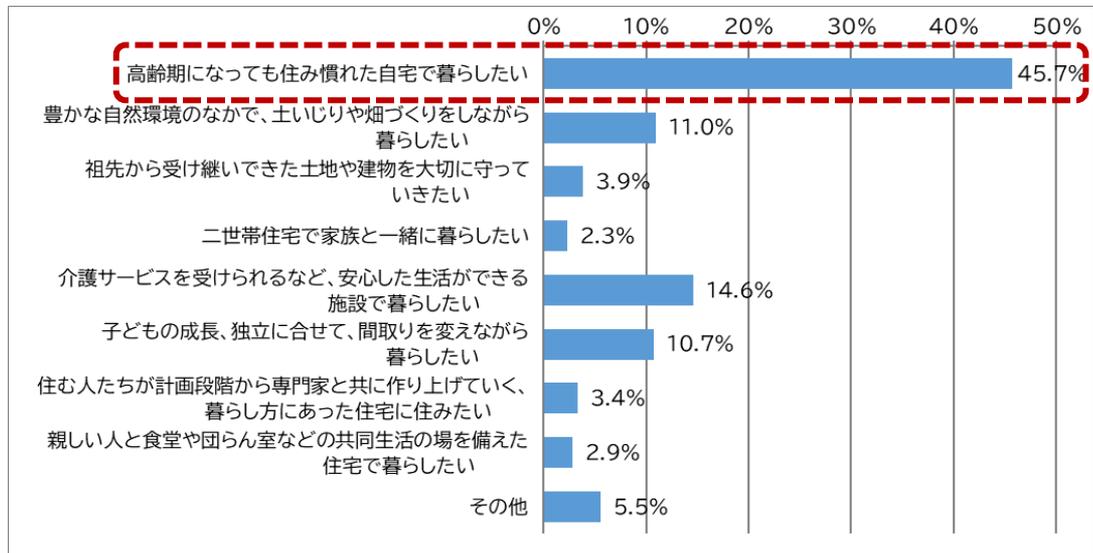
## 2. 集計結果

### 【2-7 老後の暮らし方について】

希望する高齢時の暮らし方

[問18]

- ・「高齢期になっても住み慣れた自宅で暮らしたい」が約46%と最も多くなっている。

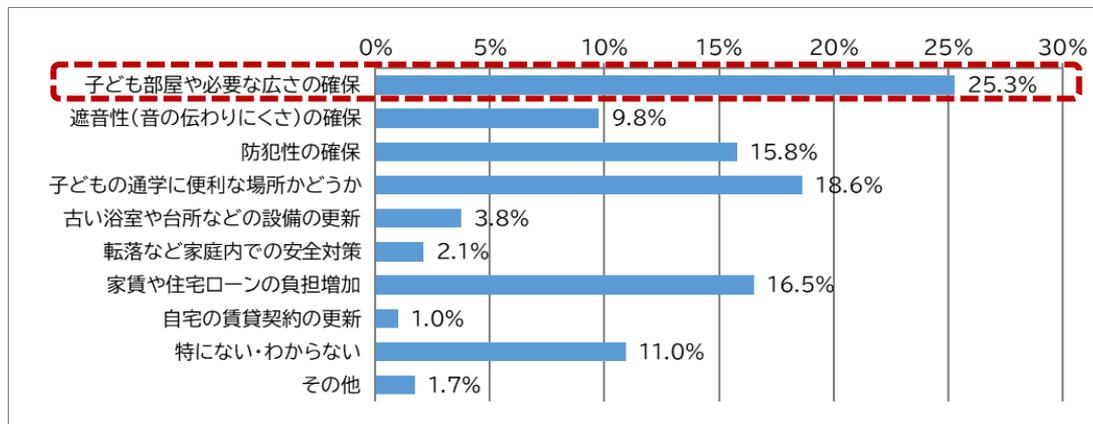


### 【2-8 子育てを行ううえで、住まいに関して不安に思うこと】

子育て期の住まいに関する不安

[問19]

- ・「子ども部屋や必要な広さの確保」が約25%と最も多く、次いで「子どもの通学に便利な場所かどうか」が約19%となっている。

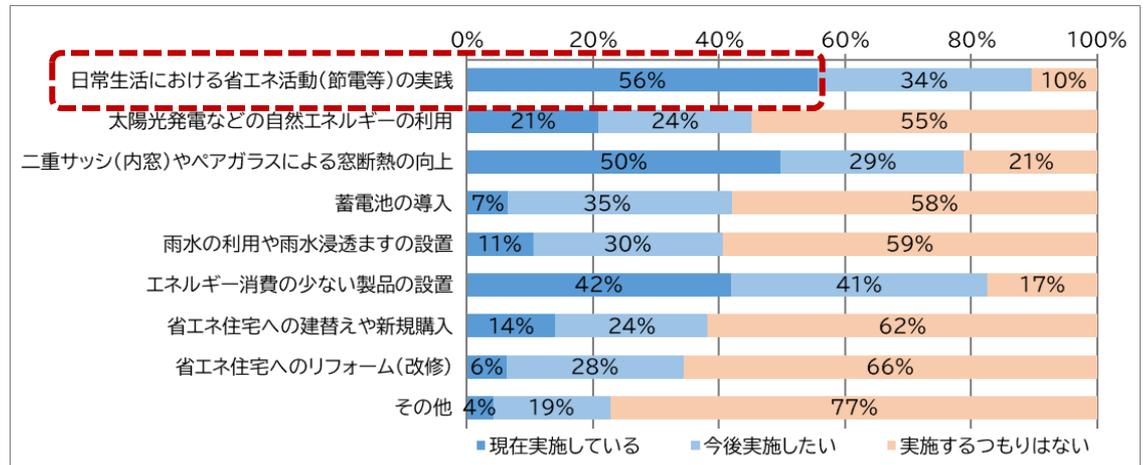


## 2. 集計結果

### 【2-9 環境に配慮した住まい方について】

家庭で行っている環境に配慮した取組 [問21]

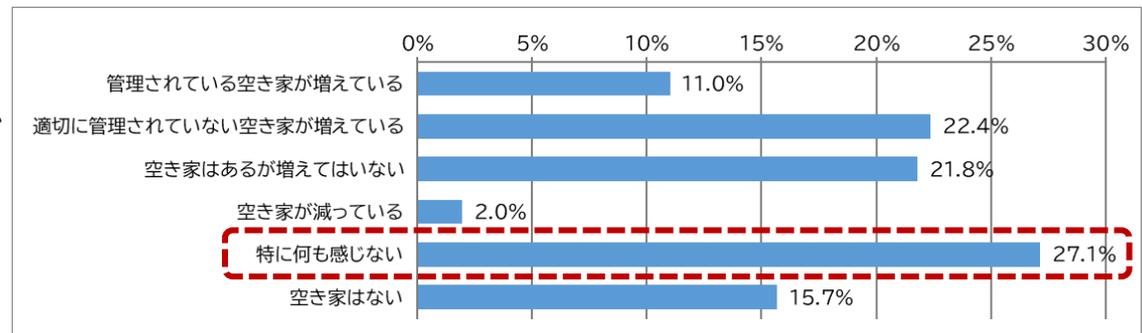
- ・「日常生活における省エネ活動（節電等）の実践」が約56%と最も多く、次いで「二重サッシ(内窓)やペアガラスによる窓断熱の向上」が約50%となっている。



### 【2-10 周辺の空き家と自宅について】

#### ① 空き家の状況 [問22]

- ・「特に何も感じない」が約27%と最も多く、次いで「適切に管理されていない空き家が増えている」が約22%となっている。

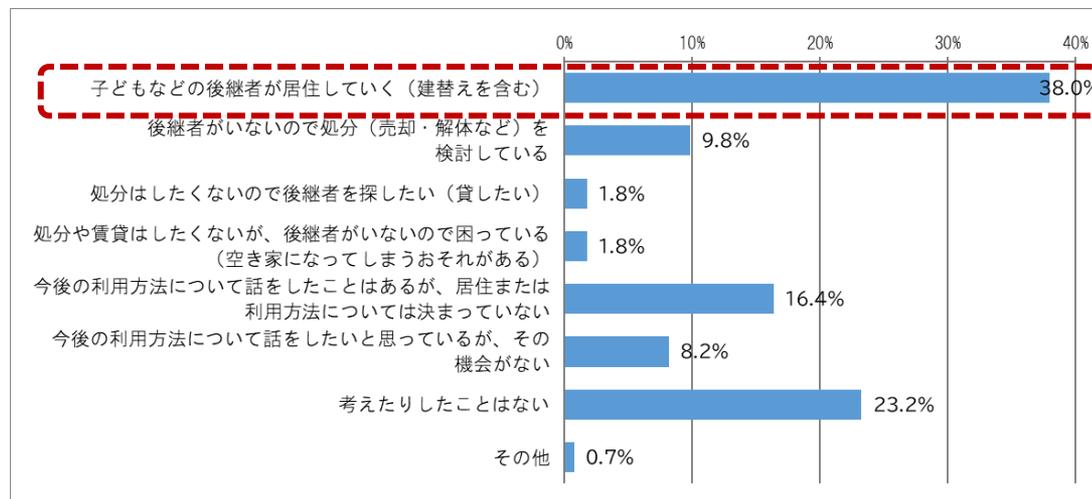


## 2. 集計結果

### ② 自宅の今後について

#### [問23]

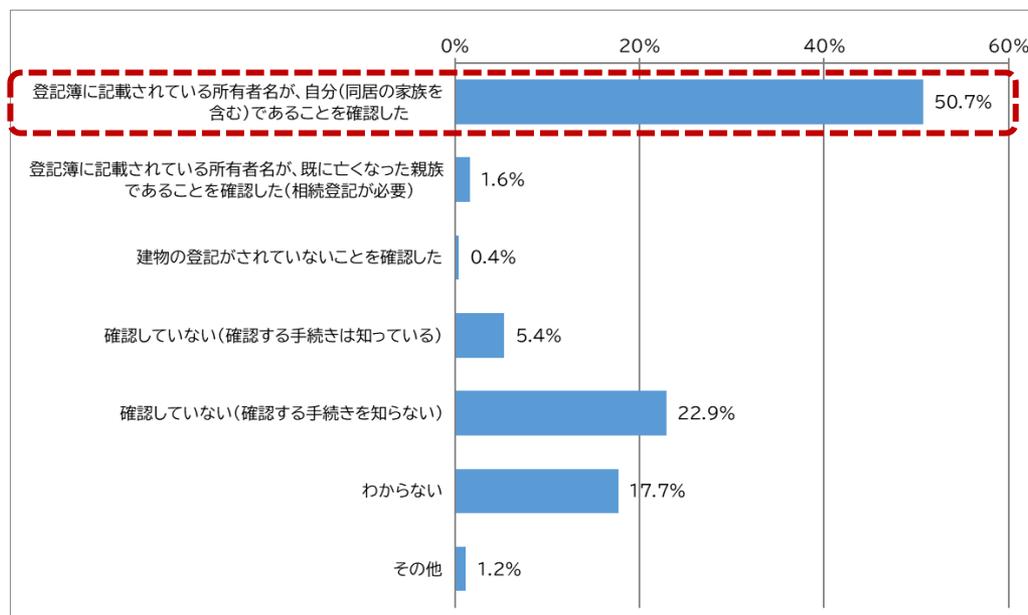
- ・「子どもなどの後継者が居住していく(建替えを含む)」が約38%と最も多く、次いで「考えたりしたことはない」が約23%となっている。



### ③ 相続登記の義務化について

#### [問24]

- ・「登記簿に記載されている所有者名が、自分(同居の家族を含む)であることを確認した」が約50%と最も多くなっている。

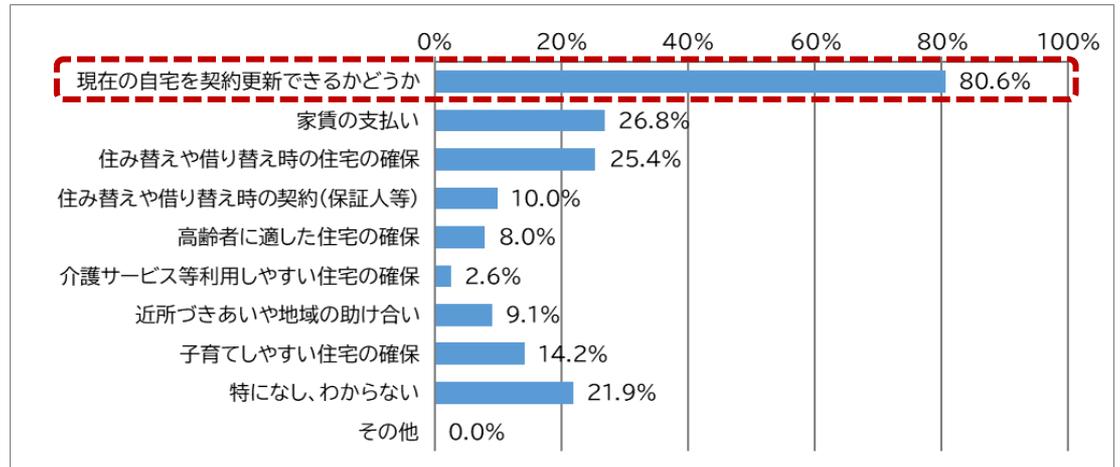


## 2. 集計結果

### ④ 今後の住まいの確保について

#### [問25]

- ・「現在の自宅を契約更新できるかどうか」が約80%と最も多く、次いで「家賃の支払い」が約27%となっている。

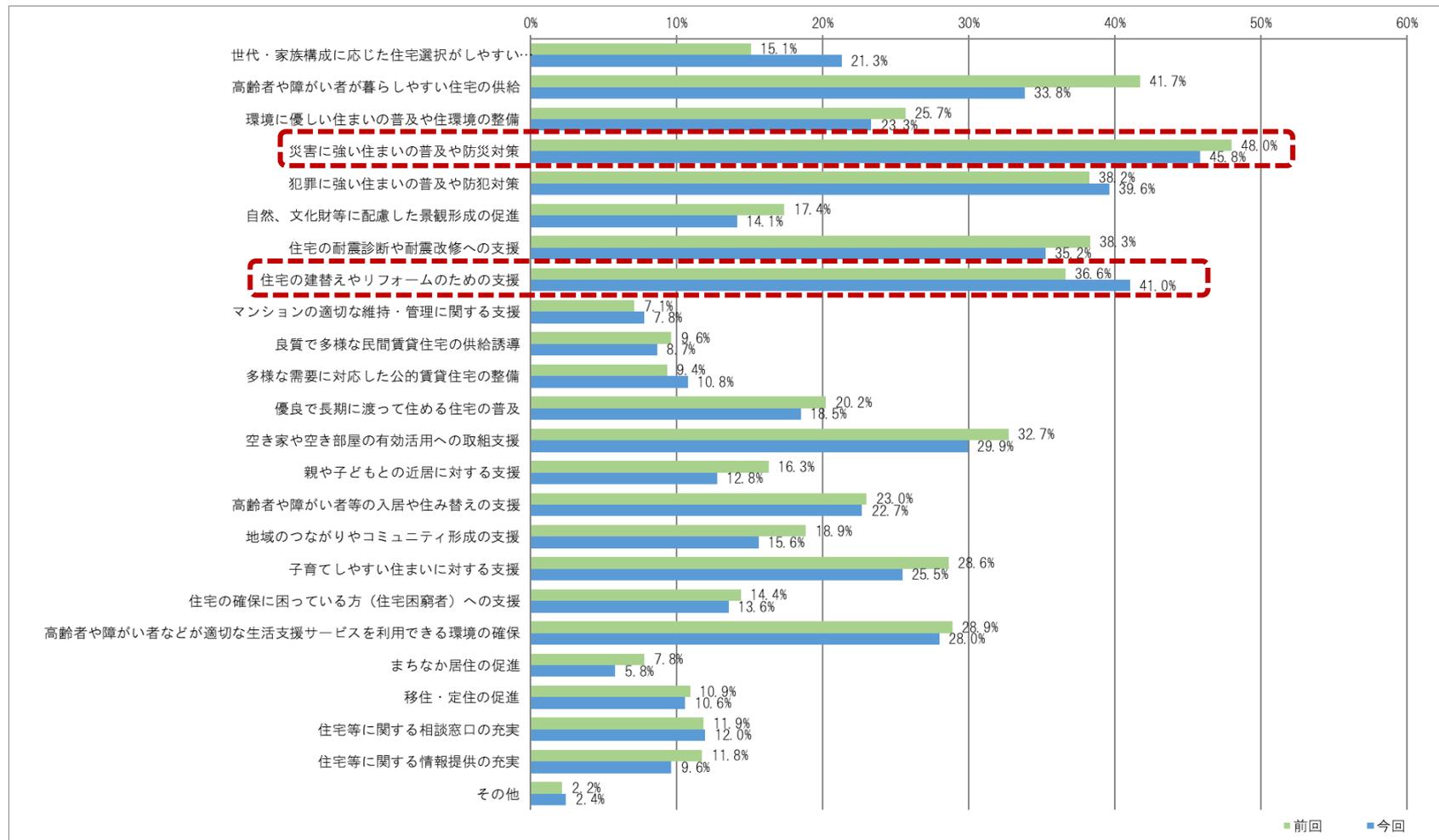


## 2. 集計結果

### 【2-11 住宅施策について】

住宅施策に関して市に期待すること[問26]

- ・「災害に強い住まいの普及や防災対策」:約46%
- ・「住宅の建替えやリフォームのための支援」:約41%



## 協議事項(2)

### (2)現況分析の更新結果

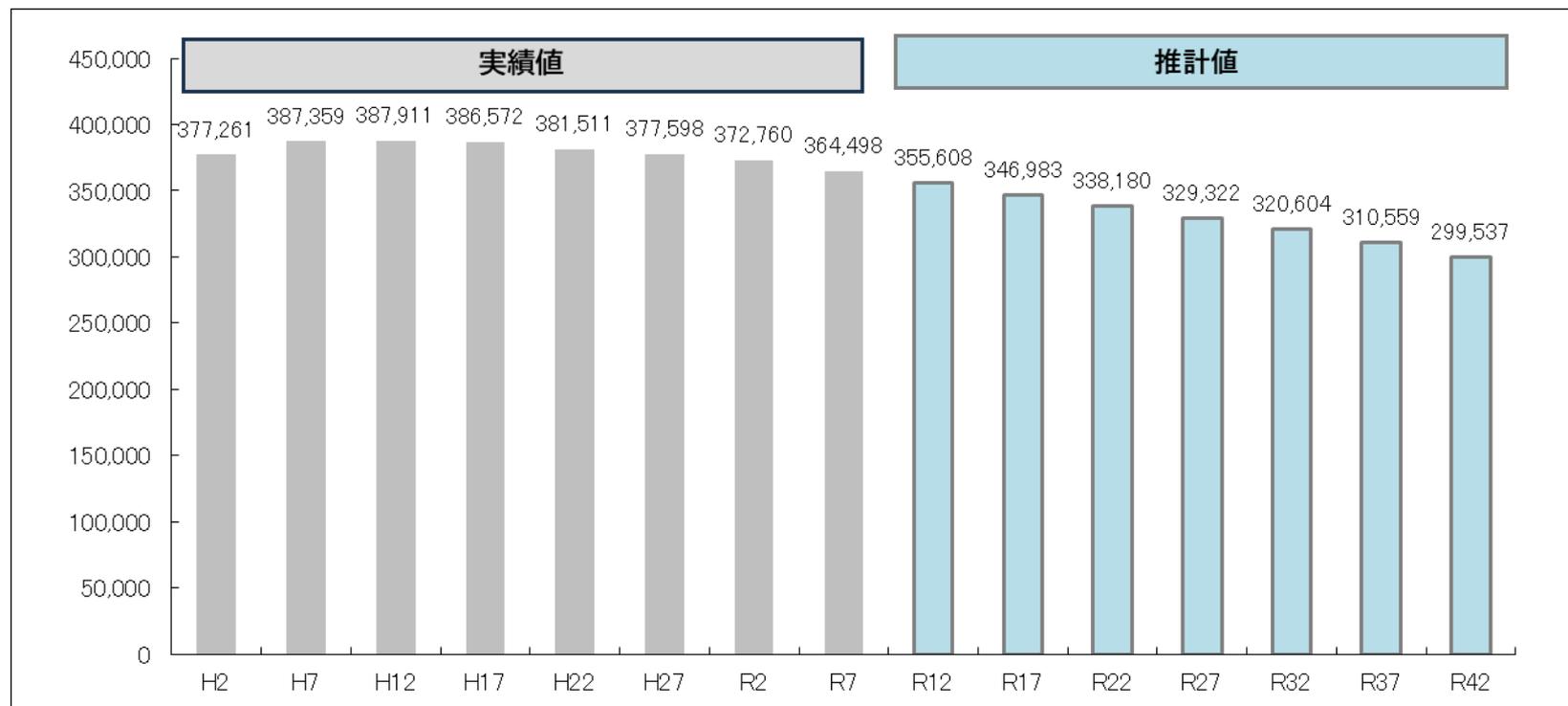
【スライドにて報告】

# 1. 長野市の現況分析

## 【1-1 将来人口推計】

- ・平成12年には約39万人と人口のピークを迎え、その後、令和7年には2万3千人近く減り、約36万人となった。
- ・人口推計値によると、人口は減少していく見込みで、令和42年には約30万人になる見込み。

人口の推移と推計値



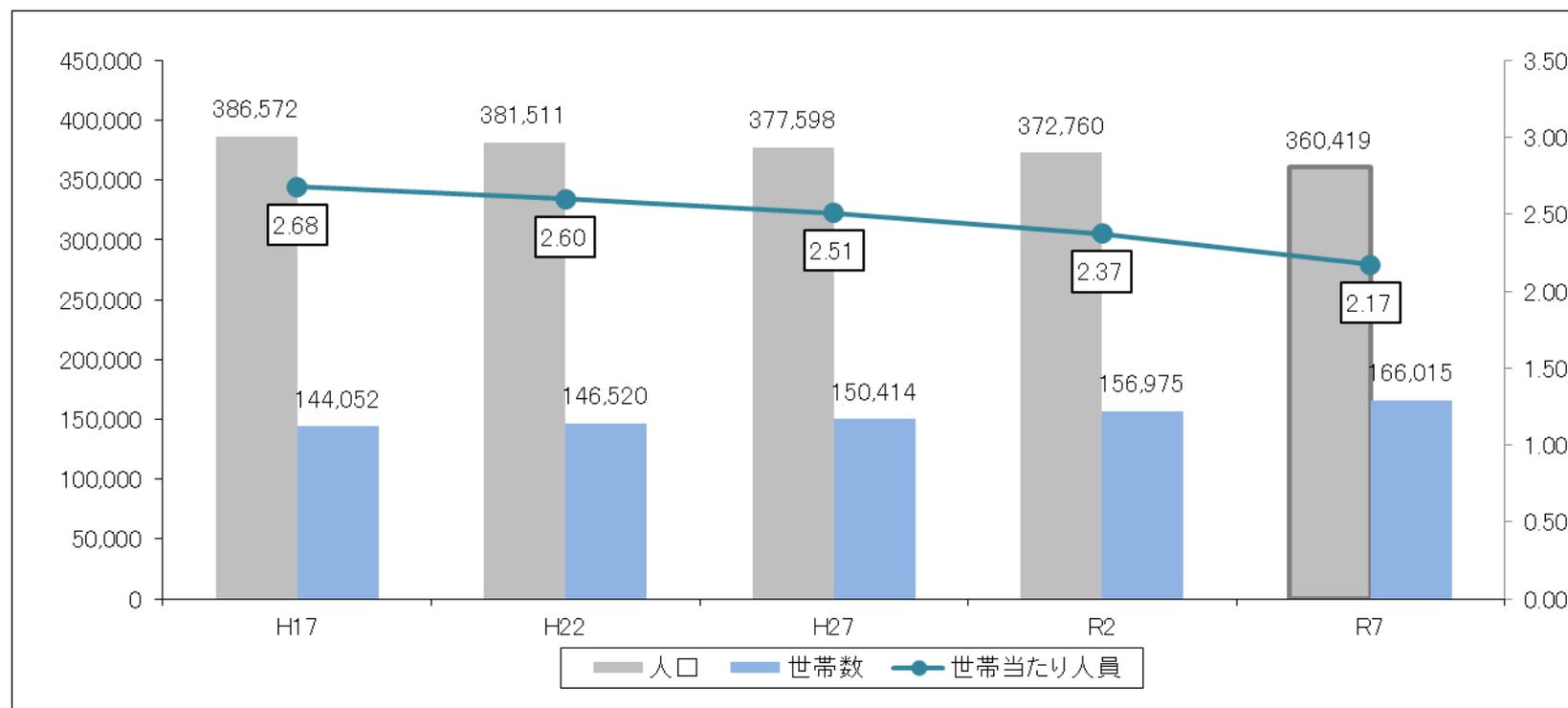
資料)国勢調査各年、長野市人口ビジョンR7.4

# 1. 長野市の現況分析

## 【1-2 人口と世帯数の推移】

- ・世帯数は一貫して増加傾向にあり、令和7年現在、約16万6千世帯となっている。
- ・世帯当たり人員は平成17年に1世帯当たり2.68人であったが、令和7年には約0.5人減少した1世帯当たり2.17人となっており、1世帯当たり人員の縮小が進んでいる。

人口と世帯数の推移



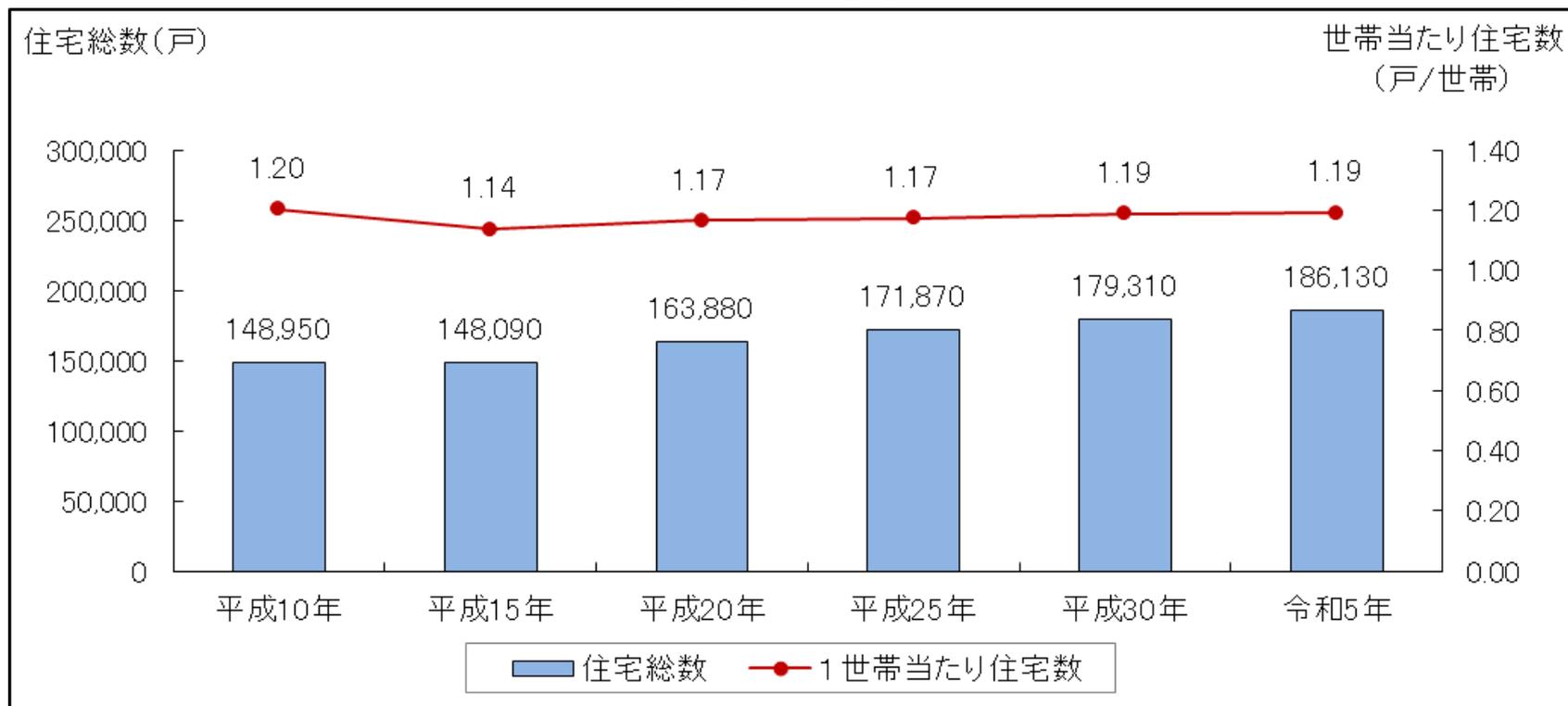
資料)国勢調査各年、長野市人口ビジョンR7.4

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-1 住宅総数の推移】

- ・市内における住宅総数は増加を続け、令和5年には186,130戸となり、5年前の平成30年からは6,820戸、約3.7%増加している。
- ・令和5年の1世帯当たりの住宅数は1.19戸/世帯となっており、平成10年よりほぼ横ばいで推移している。

住宅総数の推移



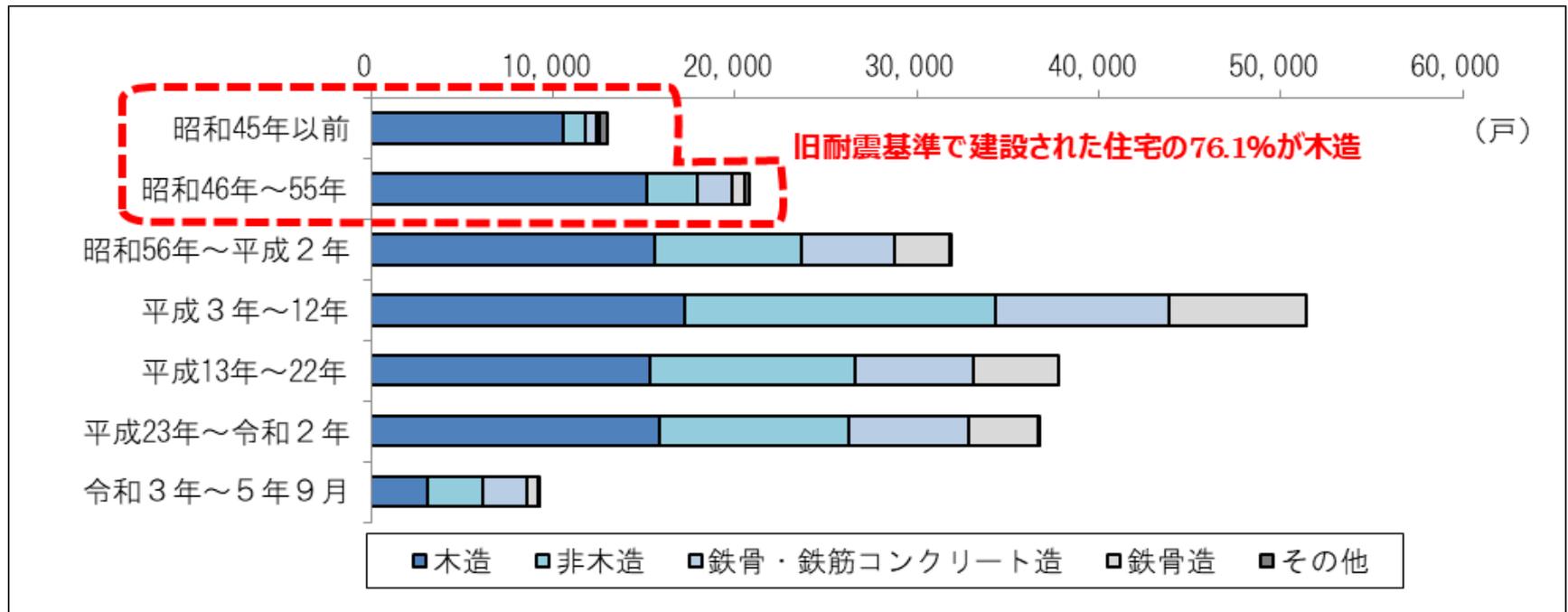
資料)住宅・土地統計調査

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-2 住宅の構造と建築時期】

- ・「昭和45年以前」の住宅と、「昭和46年～昭和55年」の住宅を合わせると、昭和55年以前に建築された(耐震性など老朽度リスクが危惧される)住宅は29,600戸となり、住宅の建築時期が分かる住宅戸数146,520戸の約20%を占めている。
- ・旧耐震基準で建築された住宅の76.1%は木造住宅であり、築40年を経過していることもあり、耐震性だけでなく老朽化も懸念される。

住宅の構造別の建築時期



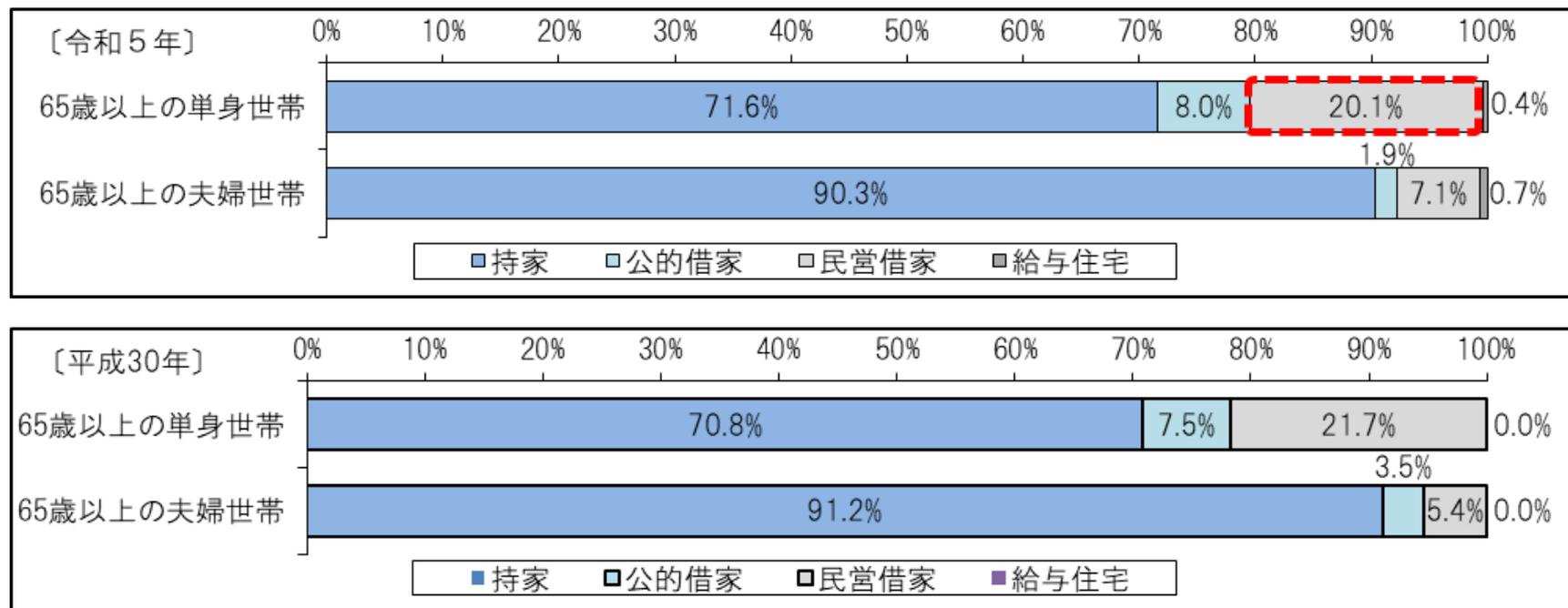
資料)R5住宅・土地統計調査

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-3 高齢者世帯の居住】

- ・本市では、令和5年時点で、65歳以上の単身世帯(高齢単身世帯)の約20%が民営借家に居住している。
- ・65歳以上の夫婦世帯(高齢夫婦世帯)は、持家への居住が約9割を超えている。

住宅種別の居住状況



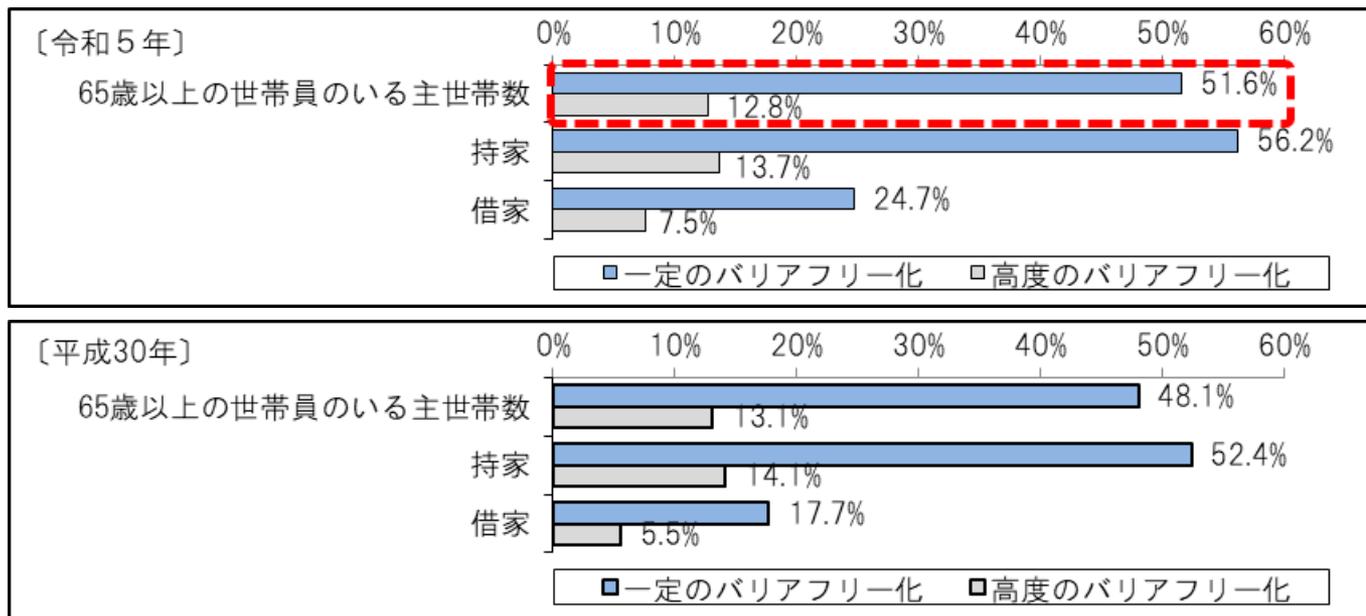
資料)住宅・土地統計調査

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-4 バリアフリー※化状況】

- ・高齢者(65歳以上の世帯員)がいる世帯のバリアフリー化状況は、一定のバリアフリー化※1がされている住宅は約51%、高度なバリアフリー化※2がされている住宅は約13%となっている。
- ・持家と借家で比較すると、一定のバリアフリー化の割合と高度なバリアフリー化の割合ともに持家が借家より高い水準となっている。

高齢者がいる世帯のバリアフリー化状況



資料)住宅・土地統計調査

※1「一定のバリアフリー化」とは、自立生活を前提に「手すりの設置(2箇所以上)」又は「段差のない屋内」を満たす住宅

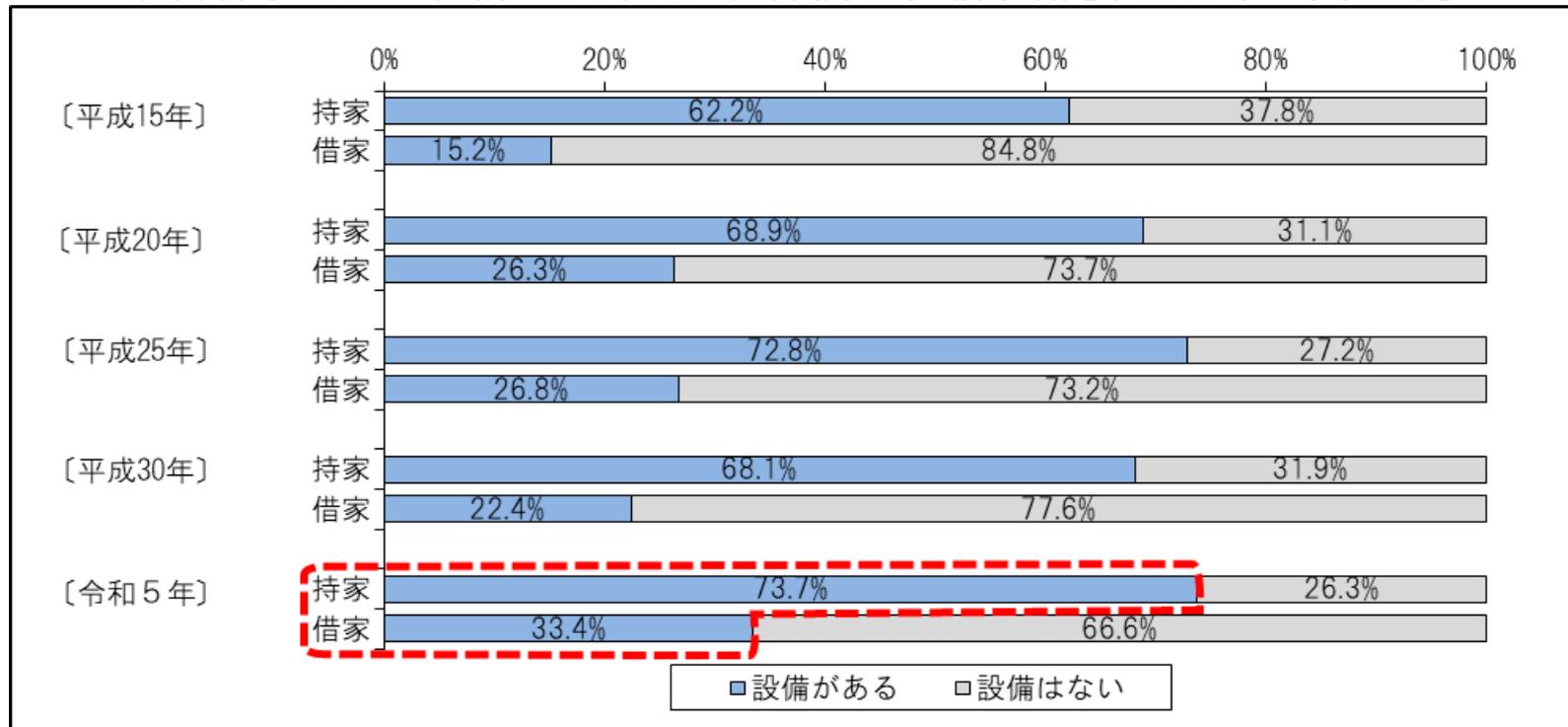
※2「高度のバリアフリー化」とは、介助が必要な状況を想定し「手すりの設置(2箇所以上)」「段差のない屋内」「車いすが通行可能な廊下等の幅」の全てを満たす住宅

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-5 高齢者等のための設備】

- ・令和5年では、高齢者等のための設備を備える住宅の割合は、持家は約74%、借家は約33%となっている。
- ・平成15年からの推移をみると、持家は設備がある住宅が徐々に増加しているが、平成30年でわずかに減少となっている。
- ・借家は低い水準で推移している。

高齢者等のための設備のある住宅の割合(持ち家・借家別)【平成15年～令和5年】

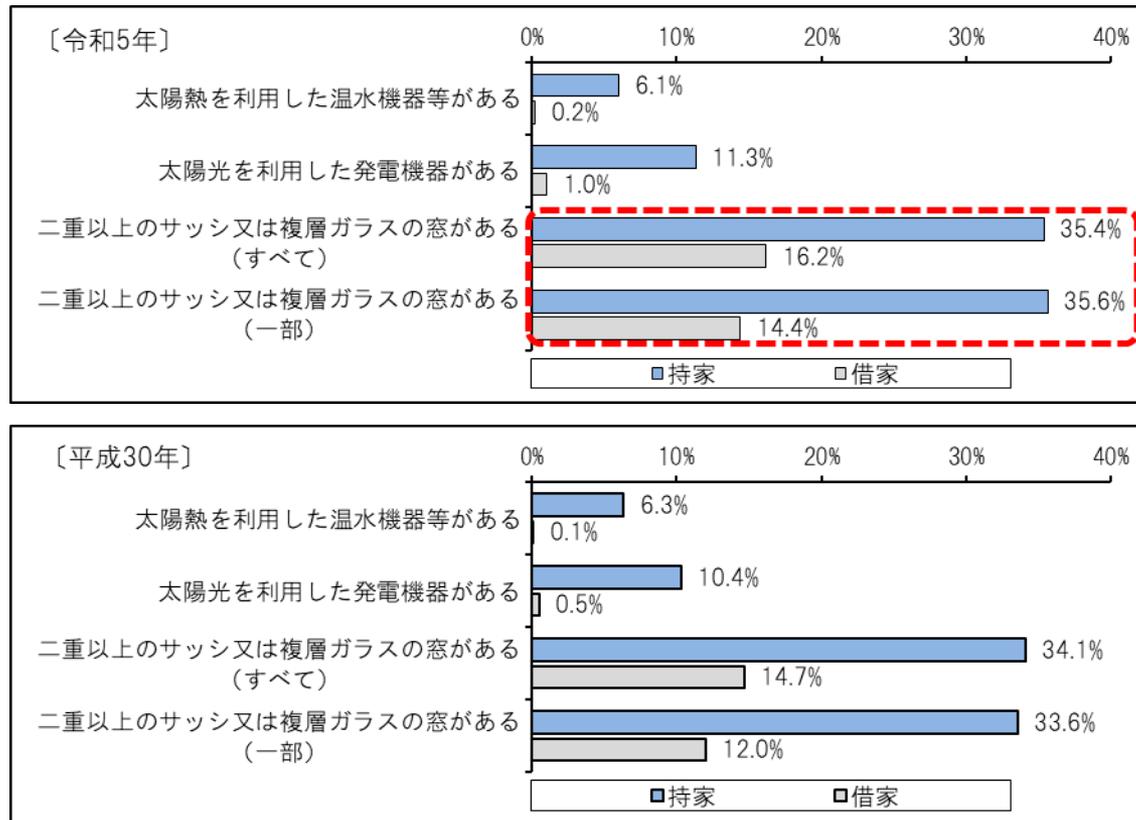


## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-6 省エネルギー設備を備えた住宅】

- ・令和5年の住宅への省エネルギー設備等の設置状況は、持家、借家共に低くなっている。
- ・「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓」についても、持家では4割弱、借家は2割弱の設置にとどまっている。

省エネルギー設備の設置状況



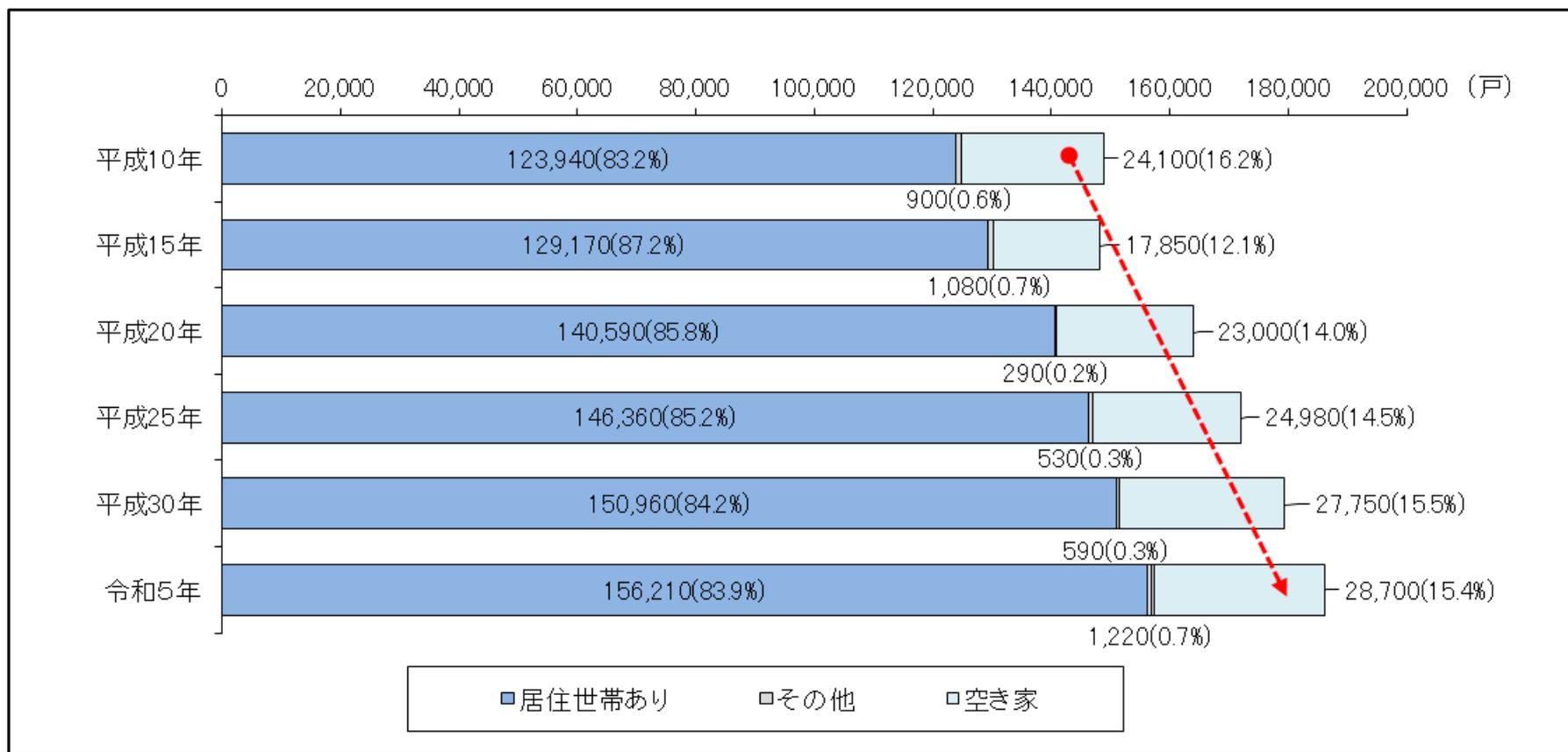
資料)住宅・土地統計調査

## 2. 長野市の住宅事情

### 【2-7 空き家の状況】

- ・市内の空き家数は年々増加し、令和5年の空き家数は28,700戸、空き家率は15.4%となっている。

空き家の推移



資料)R5住宅・土地統計調査

## 協議事項(3)

今後の予定